

高知県西南地域における計画段階評価

1. 高知県西南地域の課題

南海トラフ地震時に予想される津波被害

南海トラフ地震(M8以上の地震は今後30年で60~70%の発生確率)に伴う津波浸水により、現道(国道56号)が寸断され、黒潮町から四万十市間の緊急輸送道路が未確保。(図1)

救急医療機関へのアクセス

高知県西南地域から第3次医療施設への移動は約2時間も要し、迅速な治療が受けられない。さらに、第2次医療施設への搬送時にも、急カーブや急勾配箇所が多数あり、患者の負担となっている。(図2)

広域物流の速達性・走行性が不足

地域の水産物の、販路拡大には輸送時間の短縮が課題。国道56号には、急カーブや急勾配箇所が多数あり、品質低下を招く要因となっている。(図3)

観光客数の伸び悩み

高知県全体の観光客数が増加傾向の中、幡多地域の観光客数は増加に至っていない。(図4)

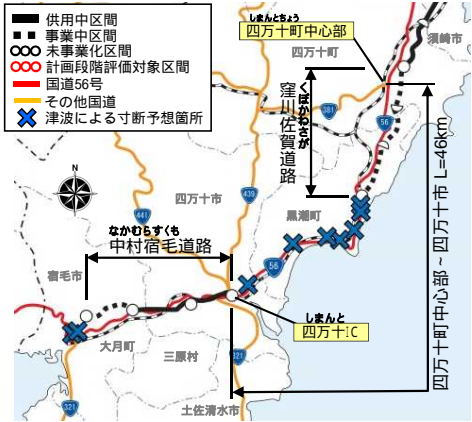


図1 津波による国道56号の寸断予想箇所



図3 主な鮮魚輸送先までの距離と輸送時間



図2 高知県西南地域の救急医療施設

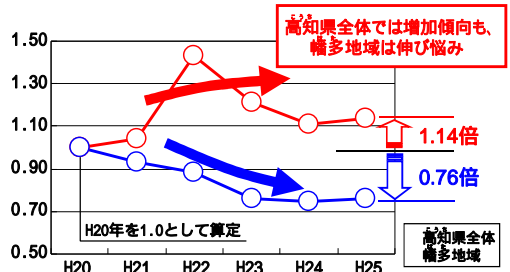


図4 幡多地域の観光客数の推移

2. 原因分析

唯一の幹線道路が津波浸水地域を通過

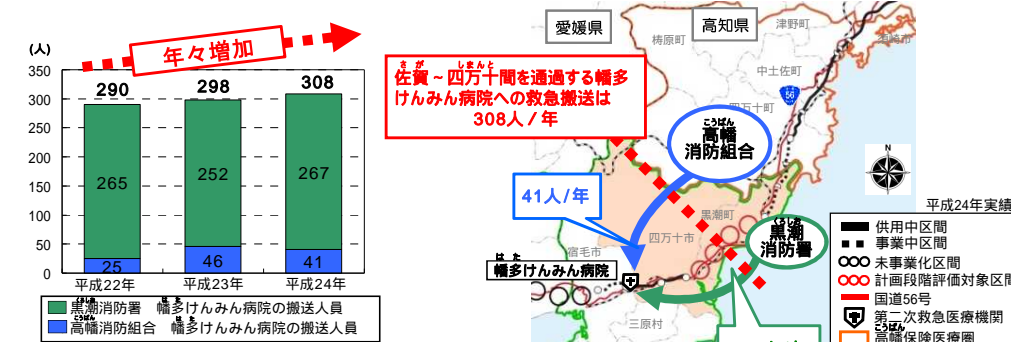
南海トラフ地震において、国道56号における高知県高岡郡四万十町~四万十市(46km)間のうち20km(44%)の区間が津波浸水。高知西南地域における四国横断自動車道の事業中区間が供用しても、依然として74%の津波浸水区間(津波最大浸水深18m)が残存。(図5)

高速ネットワークが未整備

高知県西南地域には第3次医療施設がなく、救急患者の搬送先は第2次医療施設である幡多けんみん病院に依存している状況の中、佐賀~四万十間を通過する幡多けんみん病院への救急搬送は年々増加傾向にあり、医療圏域を超えた管外搬送が常態化。(図6) 四万十町中央IC以西の高速道路が未整備のため、速達性や安静搬送、輸送物資の品質保持の確保が困難。さらに、幡多地域の観光資源を連携し、地域間交流の促進が困難。



図5 津波浸水区域を通過する国道56号



【四万十町・黒潮町から幡多けんみん病院への救急搬送人員】
図6 救急医療施設への搬送状況

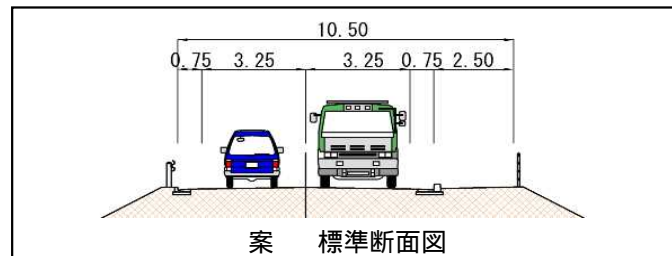
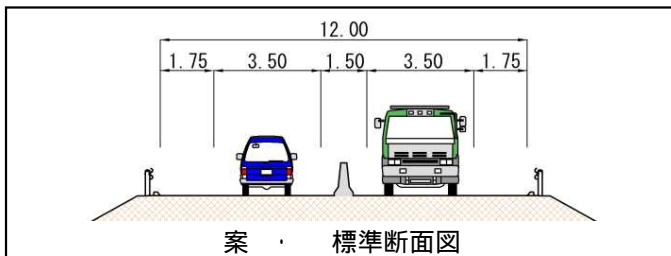
3. 政策目標

南海トラフ地震に備えた信頼性の高いネットワークの確保
救急医療機関への速達性の向上・安静搬送の実現
速達性・走行性の向上により産業振興を支援
地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援

高知県西南地域における計画段階評価

4. 対策案の検討

評価軸		案 市街地(集落)との連絡性を優先するバイパス案	案 区間延長を極力短くしたバイパス案	案 現道改良案 (現状の国道56号の急カーブ・道路幅等を改良する案)
整備目標		延長 約2.2km 80km/hで走行できる自動車専用道路(2車線)	延長 約2.0km 80km/hで走行できる自動車専用道路(2車線)	延長 約2.7km 60km/hで走行できる一般道路(2車線)
【政策目標】 地震・津波発生時	国道56号の代わりとして利用できるか?	国道56号の代わりとして利用できる		
	地域の防災拠点施設への円滑な連絡が確保できるか?	円滑な連絡が確保できる (案より連絡距離が短い)	連絡が確保できる	× 津波浸水影響を受けるため、連絡が確保できない
	避難路と連携し、一時的に避難場所として活用できるか?	避難場所として活用できる (案より多く活用できる)	避難場所として活用できる	× 津波浸水影響を受けるため、避難場所として活用できない
【政策目標】 目的地までの移動	医療施設までの搬送時間や患者への負担は? (急カーブや信号交差点等の影響)	搬送時間の短縮や患者への負担軽減が見込まれる		
	市場までの輸送時間や商品の品質確保は? (急カーブや信号交差点等の影響)	輸送時間の短縮や商品の品質確保が見込まれる		
	観光地への立寄箇所や滞在時間の増加は? (広域的な時間短縮等)	時間短縮により、立寄箇所や滞在時間の増加が見込まれる		
自然環境	動物への影響は?	影響の可能性はある	影響の可能性はある	影響の可能性はあるが小さい
	植物への影響は?	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい
生活環境等	家屋などへの影響は?	小さい(案より大きい)	小さい	× 大きい
	大気質及び騒音等の影響は?	影響の可能性はあるが小さい(案より大きい)	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はある
	重要な史跡等への影響は?	影響の可能性はある	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい
事業期間	建設に要する期間は?	長い(案より短い)	× 長い	短い
経済性	建設に要する費用は?	約950~1000億円	× 約1050~1100億円	約250~300億円
総合評価				×

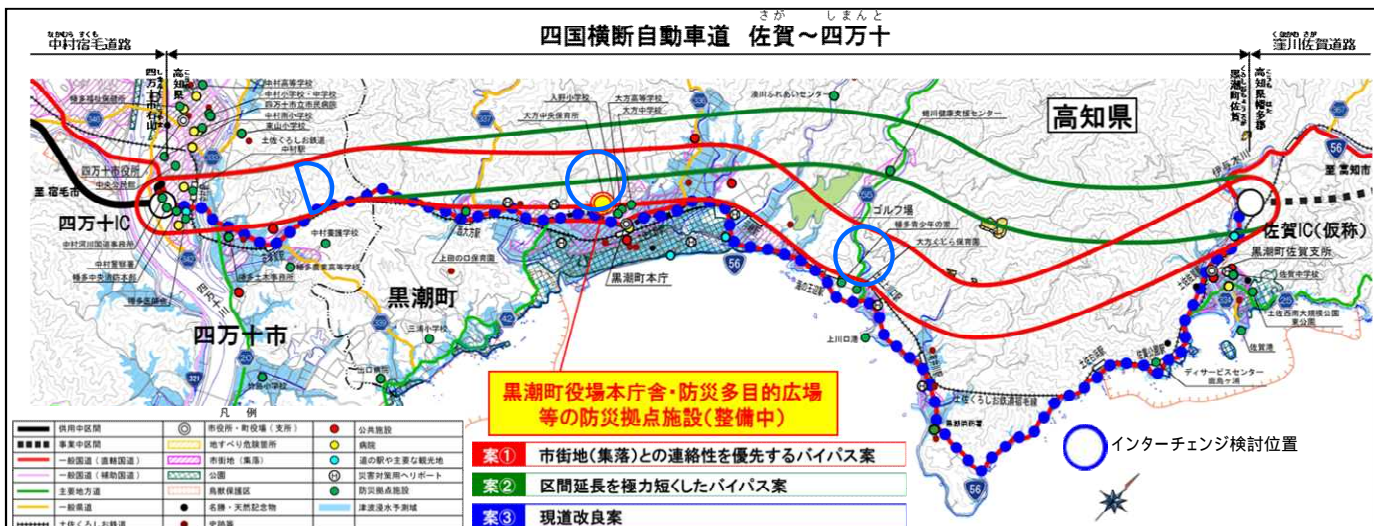


対策方針(案)

案 による対策が妥当

【計画概要】

- ・一般国道路線名: 一般国道56号
- ・区間: 高知県幡多郡黒潮町佐賀 ~ 高知県四万十市右山
- ・概略延長: 21.9km
- ・設計速度: 80km/h
- ・標準車線数: 2車線
- ・概ねのルート: 図5案 のとおり



(参考) 当該事業の経緯等

地元調整の状況等

- 平成25年12月 第1回四国地方小委員会 計画段階評価着手
- 平成26年 2月 第1回地域への意見聴取
- 平成26年 6月 第2回四国地方小委員会
- 平成26年9~10月 第2回地域への意見聴取
- 平成27年 3月 第3回四国地方小委員会

計画段階評価後の状況

- 平成28年10月 都市計画原案説明会(黒潮町、四万十市)
- 平成28年11月 都市計画案の公告・縦覧(高知県)
- 平成28年12月 都市計画審議会(高知県)
- 平成29年 1月 都市計画決定

地域の要望等

- 平成29年 2月 高知県知事が財務省に早期事業化を要望
- 平成29年11月 四国横断自動車道高知県建設促進期成会が国土交通省に早期事業化を要望
- 平成29年11月 高知県知事が国土交通省、財務省に早期事業化を要望
- 平成30年11月 四国横断自動車道高知県建設促進期成会が国土交通省に早期事業化を要望
- 平成31年 2月 高知県知事が国土交通省に早期事業化を要望

図7 黒潮町佐賀~四万十市右山間における対策案検討